

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表)

令和 2 年 1 月 30 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		基準を上回る活動スペースを持っていますが、整理整頓に心掛け、快適に療育出来るスペースを心掛けております。	今後も同様に、適切なスペースの確保と環境整備に努めて参ります。
	2	○		配置基準を大きく上回る指導員数で運営し、児童一人ひとりと密に接して頂ける配置数になっています。個々に応じ、マンツーマンで対応しています。	今後も同様に、適切な人員を確保・配置して参ります。
	3	○		特性に応じて、視覚支援を行ったり、分かりやすく静・動の時間を設けるなどしています。また、年齢や発達に合った机や椅子の準備をし、子どもに応じてレイアウトを整えるなどしています。	今後も同様に利用児童の個々の特性に応じた最善の環境作りを目指して参ります。
	4	○		清潔に保たれています。療育終了後、毎日使用した玩具の清掃、指導室、トイレの清掃を行っています。感染症などの対応として、支援開始前、食事前、食事後、おやつ前などに都度清掃と除菌を行っています。	今後も同様に心地よさと清潔な空間の維持に努めて参ります。
業務改善	5	○		日々振り返り、反省をもとにリフレクションシートを使用したり業務改善を行っています。定期的に会議を行い、子どもの支援に限らず、業務等についての話し合いも実施しています。PDCA サイクルに基づき、課題分析を行い、都度評価を行い、指導員全員で話し合いをする機会をしっかりと確保しております。	今後も同様に PCDA により業務改善を進めて参ります。
	6	○		アンケートを配布し、ご意向を把握し改善につなげています。	今後も同様に保護者様のご意向を把握し、業務改善につなげて参ります。
	7	○		保護者様からの評価、並びに事業所の自己評価の結果は、COMPASS の公式 Web サイトで公開し、事業所にも掲示し、いつでもご覧いただけます。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なって参ります。
	8	○		現時点では、明確な第三者からの外部評価は行っておりません。	第三者による外部評価についての取り組みは今後の検討課題と致します。
	9	○		外部研修にも積極的に参加し、研修に参加した職員から全職員へ情報共有の手段として事業所内研修を毎月定期的に行っています。	今後も研修による職員の資質の向上を図って参ります。
適切な支援の提供	10	○		利用開始前にアセスメントを行い課題などを把握し、計画をつけています。定期的な個別面談で掌握した利用児童の状況や保護者様のニーズを支援計画に反映させて作成しています。	今後も継続して適切に行って参ります。
	11	○		標準化されたアセスメントツールを使用し、モニタリング時には事業所にて統一されたチェックシートにて児童の状況を把握し、また保護者様のご意向の確認も行って参ります。	今後も継続して適切に行って参ります。
	12	○		ガイドラインの各項目を盛り込み、児童の支援に必要な具体的な支援内容を設定しています。	今後も継続して必要項目を選択し、適切で具体的な支援内容になるように努めて参ります。
	13	○		一人ひとりの計画書を読み、周知し、支援を行うようにしています。支援に携わるスタッフ全員が意識し支援を行っています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるように努めて参ります。
	14	○		支援計画をもとにチームでプログラムを立案しています。プログラムを立案後は役割分担を行いチームで協力した支援を行っています。	今後も計画に沿った支援が行われるようチームで立案を行なって参ります。
	15	○		季節に応じた行事を取り入れたり、個別の療育以外にも集団での活動(ルールのある遊び、サーキット運動)など、児童の状況を見ながら立案しています。COMPASS は県外にも多くの事業所があり、他事業所と情報共有しながら行事活動や療育内容に趣向を凝らしています。	今後も同様に固定化しないよう努め、内容が詳しく伝わるよう配慮して参ります。
	16	○		一人ひとりの児童の状況に合わせた対応ができています。児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しており、ご利用の都度評価し次のステップに繋げられるように PCDA サイクルに則り職員全員で話し合い、より良い支援計画と実践に繋げています。	今後も同様に児童発達支援計画の作成を行って参ります。
	17	○		毎朝 10 分程度ではありますが、職員配置や役割分担も必ず打ち合わせを実施しています。早い時間から送迎に出る職員もおり、全員での打ち合わせが難しい時もありますが、共通認識をもって支援にあたるよう、情報の共有は丁寧に行っています。	今後も欠かさず打ち合わせを行い、情報共有と認識の一致に努めます。
	18	○		支援で成功した点や工夫が必要な点などを出し合い、翌日の支援につなげています。毎日、しっかりと一人ひとりの振り返りを行っています。	今後も同様に振り返りと共有を行って参ります。
	19	○		日々の療育内容、気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等も経過報告をつけており、必ず保護者様に記録するようになっています。保護者様と連絡帳でも情報交換を行い、保護者様からご家庭での当日の児童の様子を教えてください。より良い支援が行えています。	今後も同様に記録を行い、検証・改善につなげていきます。
20	○		定期的に個別支援会議を行い、児童の状況把握を行っています。定期的にモニタリングを実施し、面談にて丁寧に説明し、今後の療育目標を定め、ご質問などを伺い、保護者様の方のご要望を取り入れながら見直ししています。	今後も同様に、モニタリングと計画の見直しを行って参ります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。	今後も同様に児童担当と担当者がチームで参画致します。
	22	○		相談支援センター、保育園、幼稚園と連携しています。送迎時などにも、毎回回の担任の先生に本日の様子をお尋ねしたり、関係機関との連携を行い、情報共有した上での支援を心掛けています。	今後も更に関係機関との関わりを大切にしながら連携した支援ができるよう努めて参ります。
	23	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	今後、医療的ケアが必要な児童を受け入れることになった場合は、連携した支援が行えるよう、体制を整えて参ります。
	24	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている。	医療的ケアが必要な利用児童の場合は主治医や、協力医療機関等と連携した支援に努めます。
	25	○		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図って参ります。
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今後も関係機関と連携して情報共有と相互理解を図って参ります。
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	今後も同様に連携し、研修に参加し、研鑽に努めます。
	28	○		保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	個人情報保護の観点から、保護者様のご意向を確認し、ニーズによっては検討し、今後の課題とします。
	29	○		(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している。	協議会の参加は今後の課題とし、参加資格を得るため自治会への加入を含め現在検討しています。
	30	○		登所時にはその日の様子を細かく伝えるようにしています。また、連絡帳にはその日に行ったこと等を細かく書いています。色々な療育を通して、できるようにしたい事やこれからの課題をいつも話し合い、療育に繋げています。	今後も機会を捉え共通理解に努めます。また、連絡帳や電話でも気軽に相談出来るよう、信頼関係を大切に参ります。
保護者への説明責任等	31	○		ご相談を受けることも多いので、児童と保護者様の状況を見ながら、できるだけ適切な助言をするように心掛けています。様々な研修に参加し、得た情報をもとに最善の対応を行っています。	今後も保護者様への支援に努めます。
	32	○		契約時には読み合わせを行い、時間をかけて丁寧に説明を行っています。	今後も同様に丁寧な説明に努めます。
	33	○		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、児童の課題のすり合わせを行い、面談にて充分なご説明を行い、同意を頂いた上で、ご署名を頂いています。	今後も同様に、ご意向や児童の状況に即し作成した支援計画について丁寧なご説明に努めます。
	34	○		送迎時に活用した時にお話ししたり、連絡帳を会ったりと、しっかりとお話を聞かれています。保護者様のお気持ちのケアを第一に考え、必要な助言と支援を行っております。	今後も同様に対応して参ります。
	35	○		本年度は保護者参加の療育イベントを実施しました。交通マナー教室や防犯教室に親子で参加して頂き、好評を頂きました。その機会に保護者同士の交流や療育相談など支援させて頂いております。	今後も同様に保護者様同士の連携を支援して参ります。中には通所利用を秘匿したい保護者様もおられるため、保護者様同士の交流に工夫も必要と感じております。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者等に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	今後も引き続き相談や申入れについては迅速丁寧に対応して参ります。
	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	今後も継続し、保護者様へサイトのご案内も行なって参ります。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している。	引き続き個人情報は慎重に取り扱い、保管にも配慮を重ねて参ります。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている。	今後も同様に、意思疎通を図って参ります。
	40	○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	今後も地域住民参画の行事を検討して参りたいと考えています。
非常時等の対応	41	○		マニュアルを策定し室内に備えています。感染症対応には流行時期に合わせて対応方法はシミュレーションを行っています。防災訓練は様々な想定のもと、市の方のご協力も得ながら訓練を実施しています。	今後もマニュアルの周知と訓練を重ねて参ります。
	42	○		定期的に地震・火災を想定した訓練を実施しています。訓練の際には事前に保護者様にお知らせし、ご参加頂くこともあります。消防署の方も協力して頂きながら毎年、災害対策の必要性をしっかりと児童に伝えていきます。	今後も、定期的に避難訓練を継続して参ります。
	43	○		アセスメントや、モニタリング等で必要な情報をお聞きし、把握するようにしています。	今後も継続して児童の状態の確認と対応を行なって参ります。
	44	○		アレルギー調査票にて保護者様から確認を行い、アレルギー一覧表を作成し、情報共有に努めています。	今後もアレルギーに関しては、同様に慎重な対応を行って参ります。
	45	○		ヒヤリハットは必ず記録し、定期的に会議で事例を取り出し、対応について話し合う機会を作っています。話し合った内容によっては、必要な物品の購入に繋げ改善に努めています。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、事故防止への対応を重ねて参ります。
	46	○		虐待防止に関しては、定期的にマニュアルに沿った職員研修を行っています。アンケートも実施し、常に適切な対応を行えているか確認しあっています。	今後も継続し、虐待防止に努めて参ります。
	47	○		現在、身体拘束が必要な児童のご利用はありますが、利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を損傷する為にはやむを得ず身体拘束を行う場合は、予め文書により保護者様の同意を得るようにしています。	身体拘束の必要な可能性がある児童の利用が開始となった場合、保護者様や関係医療機関などと十分な話し合いを持ち、了解を得た上で体制を整え、支援計画にも記載するようにいたします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。